淑　徳　大　学　広　報　誌

Together

2014 Spring | http://www.shukutoku.ac.jp

SHUKUTOKU

Cover Person
市川 茉梨奈さん
人文学部 表現学科1年

Enjoy Your Campus Life
キャンパスをアクティブに使いこなせ!!
千葉キャンパス
東京キャンパス
千葉第2キャンパス
埼玉キャンパス

学長メッセージ
社会を生きる力、
他者と共に生きる力を身につけてほしい。

淑徳調査団
大学での学び・研究

淑徳人
千葉県亀田総合病院　助産師　三田知美さん

NEWS CLIP
知識モリモリ×栄養モリモリ「食品添加物の一日摂取許容量について」

キャンパスを アクティブに使いこなせ!!

201
2014. 4. 1

社会を生きる力、他者と共に生きる力を身につけてほしい。

学長　足立（あだち）　叡（あきら）

淑徳大学　学長
足立　叡（あだち　あきら）

2013年4月学長就任。研究テーマは「社会福祉原論（社会福祉援助論の人間関係学的基礎づけ）」。「共生論」の授業では、学祖・長谷川良信の教えを説く。日本社会福祉学会会員。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本学への入学は、学問への扉を開くと同時に、社会へのさらなる一歩を踏み出すことでもあります。皆さんの門出を心より祝福いたします。

大学全入時代の昨今、社会は、大学に何を期待しているのか？

いま、大学で学ぶことの意味が問われています。18歳人口のほぼ50％強が大学へ進学する昨今、少子化のもとで大学全入時代と言われています。こうした状況のなかで、大学でなにを学び身につけるのか、あるいは社会は大学に対してなにを期待し求めているのか、あらためて考えておきたいと思います。

それぞれの学部・学科における専門的な知識やスキル、専門資格を取得することは、大いに意味あることであり、時代がいかに変わろうとも大学で学ぶ重要な目的であることは言うまでもありません。

「社会を生きる力」、すなわち社会人基礎力を身につける

今日において、学問的素養以上に社会から強く要請されていることがあります。それは、学んだ専門的知識・スキル・資格を、将来社会で活かしていく力の育成です。言い換えれば、社会に貢献するための基礎的な力を身につける学びであり、それを伝える教育が期待されているのです。

これらは、学部・学科の違いを超えて、共通に求められる学びです。専門の学修に励むことはもちろん、大学時代の4年間は社会に出る準備期間であることを認識してほしいと思います。知識やスキルとともに、こうした「社会を生きる力」を高めることが今日の大学に課せられた重い使命と言えます。

Together with him「他者とともに生きる」――共生の理念を軸に授業を展開

具体的にどのような能力や資質を指すのでしょうか。本学ではそれを、「他者とともに生きる力」ととらえています。いまの時代に大学で学ぶ意味を考えるにあたり、この淑徳大学で学ぶ意味は非常に大きいものがあると、私は思います。

本学は、49年前の開学から、すでにこのことを建学の精神に据え、教育を展開してきました。すなわち、大乗仏教の精神に基づく"Together with him"「他者とともに生きる」共生の理念を学びと教育の基礎に置いて、社会的使命の実現に取り組んできました。

「私」とは常に社会や、他者や事物との関係において存在するもの

共生の理念とは、私たち人間のあり方の基本を意味する概念です。「私」という存在は、個体として私の中にのみ存在しているのではありません。常に「私」は、社会の他者や事物との関係において存在しているということを理解する必要があります。私たち誰もが、一人では生きていくことができないのです。

私たちはさまざまな困難に遭遇した時、自分の力だけではどうしようもない、人間は一人では生きていけない、という気持ちに襲われます。しかし、日常生活の中でこの自覚はともすれば忘れがちになります。東日本大震災を通して、人との関係性を生きることの大切さを、私たちはあらためて学びました。本学も被災地支援ボランティア活動を展開しましたが、そこでの学びは頭で理解するだけでなく、地域や社会の中で、体験を通して心に刻むことがなにより重要であると考えます。

淑徳大学には、人や地域とともに学ぶ伝統と実績があります。これからの学生生活を通して、皆さんには共生の理念の体験的理解を深め、その力を発展させていただきたいと願っています。

2014年度　学部長紹介

総合福祉学部長
佐藤　俊一

コミュニティ政策学部長
山本　功

看護栄養学部長
鈴木恵里子

国際コミュニケーション学部長
星野　英樹

経営学部長
廻　洋子

教育学部長
新井　保幸

人文学部長
宇佐美　正利

キャンパスをアクティブに使いこなせ!!

Enjoy Your Campus Life

新入生のみなさん、淑徳大学へようこそ。キャンパスにはドキドキ、わくわくするスポットがたくさんあります。マップを持って、ぐるっと探検してください。
在校生にとっても、あっと驚くスポットがきっとあるはずです。
もっと楽しくキャンパスライフを過ごしましょう！

15号館

横尾 朗子さん
時間割の組み方からS-Naviの使い方など、どんなことでもご相談ください。みなさんの来室をお待ちしております。

① 学生サポートセンター（15号館1階）

学生生活で困ったことがあれば、ここで相談しましょう。特に履修登録は、必修科目や単位数の問題など、慣れないと難しいものです。気軽に足を運んで、私たちスタッフに相談してください。履修登録だけでなく、サークル活動や奨学金、成績の相談も受け付けています。

伊是名 隼人さん
就職関連書籍や先輩たちの就職体験記などもあります。個別相談も受け付けています。スタッフ一同、みなさんの来室をお待ちしております。

② キャリア支援センター（15号館B1階）

将来へ向けて、1年次からあなたのキャリア形成をサポートします。就職ガイダンス、各種キャリア支援講座、公務員試験対策講座、インターンシップ対策、海外研修など、さまざまなプログラムを実施しています。

③ PC室（15号館6階）

学生が自由に活用できるパソコンがあり、レポート作成や履修登録などに利用できます。

④ 展望デッキ（15号館10階）

千葉市が一望できる展望広場は、ほっと一息つける空間です。天気のよい日には、富士山が見えることも。15号館には、他にも眺めのよいホールやソファーが各階にあります。お気に入りのスポットを探してみてくださいね。

⑤ 学生食堂（11号館）

11号館の学生食堂は、定食やカレー、麺類などたくさんのメニューがあります。人気メニューは、「淑徳ラーメン」です。震災復興支援メニューもあります。

⑥ 学生相談センター・心理臨床センター（13号館）

学生が困ったことなどよろず相談が受けられます。地域に開かれた心理臨床センターが整備され、心理臨床の専門家（臨床心理士・精神科医・カウンセラー）が対応します。

⑦ 地下食堂（10号館）

10号館にはカフェテリア＆ベーカリーカフェがあり、毎日焼き立てのパンが食べられます。ランチや授業の合間の休憩にオススメスポットです。

⑧ ラーニングコモンズ（3号館アネックス）

ラーニングコモンズは、学生同士がともに学ぶ共有スペースです。大学では、グループで学ぶ機会がたくさんあります。特にゼミナールでは、グループ研究やプレゼンテーション発表など、少人数グループで意見を共有し、一つのものを作りだすことが必要です。ラーニングコモンズを積極的に利用して、キャンパスでの学びに役立ててくださいね。

⑫ 保健相談室（2号館）

ケガや体調不良時の応急手当、病院の紹介、健康相談など身体やこころの問題で気になることがあったら、1人で悩まずに遠慮なく保健相談室へご相談ください。

⑩ 地域支援ボランティアセンター（1号館1階）

地域ボランティアセンターでは、一年間を通してさまざまなボランティア活動を行っています。ゆうあいピック（知的障がい者スポーツ大会）などの大きなイベント、小中学校や特別支援学校でのお手伝いなど地域密着した活動はたくさんあります。ボランティアに興味がある方は、一度見学に来てください。一緒に活動しましょう！

木村 有花さん
（コミュニティ政策学科　3年）
ボランティアを通して、たくさんの出会いがあります。子ども達や高齢者の方々など、異なる世代の方々との交流から、学ぶことがたくさんあります。

⑨ 図書館（4号館）

約25万冊の書籍を所蔵している図書館。自習室も充実しているので、集中して読書や学習ができます。大学ホームページから「Booklog（ブクログ）」にアクセスすると、展示コーナーの紹介や新着図書の紹介、先生のおすすめ本レビューなどの情報が入手できます。

⑪ 長谷川仏教文化研究所（1号館4階）

佐藤 朋代さん・若狭 啓太さん
（社会福祉学科　4年）
長谷川仏教文化研究所で、写真や伝票の整理などのアルバイトをしています。授業では学ぶことのできない、大学の歴史を学ぶことができるので、おもしろいです。

1号館4階にある長谷川仏教文化研究所は、大学の歴史や学祖長谷川良信先生について学ぶことができる施設です。長谷川良信先生のブラジル渡航ノート、講義ノートや日記など、なかなか見ることができない貴重な資料が所蔵されています。私たちの大学について、必ず新しい発見があるはずです。

千葉第2キャンパス CHIBA 2nd Campus

調理実習室

クッキングスタジオのように外から中の様子が見えるガラス張りの調理実習室。管理栄養士は、人前で調理をする機会も多いため、「見られることを意識し、丁寧な調理を身につけてほしい」という思いから設計されました。正面には大型モニター、両サイドにはテレビモニターがあり、斬新なデザインの実習室です。

松橋 孝子さん
怪我や体調不良時の応急手当、病院の紹介、健康相談など身体やこころの問題で気になることがあったら、1人で悩まずに遠慮なく保健室へご相談ください。

④ 保健室（1号館1階）

充実した大学生活を送るためには自分自身の心と身体の健康を守ることが大切です。皆さんが自分の健康を管理し、学生として生き生きとした生活を送れるように保健室はお手伝いします。

神子澤 幹子さん
将来の目標に向けた大きな一歩を一緒に踏み出しましょう！

① キャリア支援室（2号館1階）

キャリア支援室では、皆さんの夢の実現に向け「実習」「学力強化」「国試対策」「就職支援」を通し、きめ細やかなサポートを目指しています。特に就職支援では千葉第一キャンパスと連携を図り就職に関するガイダンス、各種キャリア支援講座のほか、公務員等の試験対策講座、海外研修など、さまざまな支援プログラムを実施します。

看護実習室

看護の実習室には様々な看護教育用モデル人形があり、みなさんの看護技術習得に役立てられています。

③ 図書室（1号館1階）

看護・医療・栄養系の専門図書を中心に蔵書しています。論文や学術雑誌の検索もできますので、定期テストや国家試験へ向けてご利用ください。2名以上からグループ学習室が利用できます。

② 学部事務部（1号館1階）

学業やサークル活動など日常生活で困ったことがあれば、学部事務部で相談してください。みなさんが楽しいキャンパスライフを過ごせるよう、お手伝いします。

東京キャンパス TOKYO Campus

金児 恵子さん
進学するか、就職するか迷ってらっしゃる方もいると思います。一人で悩まず、まずは来室してください。一緒に考えましょう！

③ キャリア支援室（2号館）

みなさんこんにちは！キャリア支援室は大学のいわゆる出口、みなさんの進路についてお手伝いさせていただいております。多くの学生さんに「相談してよかったぁ」と言ってもらえるキャリア支援室にしていきたいです。

② 東京アドミッションオフィス（4・5号館）

受験生が本学に入学するまでのお手伝いを担当する部署です。オープンキャンパスの企画・運営を行い、皆さんの母校（高等学校）にスタッフがお伺いをして大学の情報をお届けしています。この部署では、入学願書や大学パンフレットの配布も行っています。オープンキャンパスで活躍をする学生スタッフも随時募集していますので、お気軽にお越しください。

① 学食・オープンテラス（4・5号館）

オープンテラス付きの学生ホール。ランチや授業の休憩など、自由な時間を過ごせます。

スタジオ・編集室

舞台表現授業で使用される、東京キャンパスならではの施設。最新設備を備えたスタジオ、編集室では、アナウンス収録や番組制作を行います。

④ 学生支援部（1号館）

全ての学生が入学当初の夢や目的を達成できるよう履修・成績・免許・資格等に関わる学習面と奨学金等の学生生活の支援をしています。日本一面倒見の良い大学を目指して全力でサポートしますので、困ったことや相談したいことがある時はいつでも声をかけてください。

⑤ 総務部（1号館）

新入生の皆さん！ご入学おめでとうございます。創立50周年を迎える淑徳大学において新たな歴史のスタートとなる人文学部1期生の皆さん、その歴史の第一歩をしっかりと踏み出しましょう！微力ながらお手伝いをさせていただきます。学生生活の中で「総務部」と直接関わる事はそう多くはありませんが、「学費」のことに関することやその他何でも気軽にご相談ください！

⑥ 保健相談室（1号館）

あなたのやる気を支えてくれるのは体力！からだの力があってこそ、夢や目標に向かって頑張れます。そして、体力を養う基本は睡眠や食事や運動、ストレスの解消など毎日の生活です。保健相談室は、ケガや体調不良の手当てはもちろん、あなたと共に心とからだの健康を考えます。まずは、一度のぞいてみてください。

Enjoy Your Campus Life

⑫ 生協購買書籍部（2号館1階）

学生生活で必要な教科書、文房具からパンやお菓子なども取り揃えています。お店前の学生ホールは、購入してすぐ友達と食事や談話ができるくつろげる場所です。また、運転免許教習の受付や学内資格支援講座受付も行っています。

大学図書館はどんな所だと思いますか？暗く静かで、本が沢山ある、でも近付き難い・・そのように想像していませんか。図書館の1階を「ラーニング・コモンズ」と呼びます。ここは個人やグループによる自立的な学習の場で、学生同士で話し合いながらの学習もＯＫです。1階以外は静寂空間ですから、静かに集中して読書や学習ができます。

私達スタッフも学生さんの様々な質問に答えます！明るく解放的な図書館へどうぞお越しください。

⑪ 図書館（図書館・研究棟　　地下1階・1～3階）

⑩ PCサポート室（4号館3階）

4号館3階にはPCサポート室があり、操作方法やユーザーＩＤ管理などを行い、みなさんをサポートしています。また、3号館には約300台のパソコンを設置しています。Windows・iMacのPCを設置し、多用途に対応しています。PC自習室は常時開放し、授業がない時間帯は他のPC教室も開放しています。ぜひ情報教室をご活用ください。

国際交流センターは、海外留学や語学研修プログラムを提供しています。スタッフが各種留学関係のプログラムを優しく、分かり易く説明します。

⑨ 国際交流センター事務室（4号館3階）

国際交流センター事務室では、ブラジル派遣研修、短期海外研修などの研修プログラムの支援並びに外国人留学生の支援を行っています。

⑧ クラブ棟

サークルやクラブの部室があります。サークル活動や休憩時間に利用することができ、学生同士の交流の場となっています。

⑦ 武道場

柔道部、ダンス系サークルなどの練習で使用しています。

1 号館

① 学事部（1号館1階）

大学生活を送っていく上で、授業のことや各種手続き方法など、聞きたいことがたくさんでてくると思います。そのときは学事部カウンターまでいらしてください。主に、履修、授業、成績など、みなさんの授業に係わることをサポートしているのが教務、奨学金やクラブ・サークルなどをサポートしているのが学生厚生です。不明な点を解消して、大学生活をより良いものにしていきましょう。スタッフに遠慮なくお声がけください。

② 学生総合相談支援室（1号館1階）

大学生活を送る上で「どこに相談にしたらいいの？」と迷うことはありませんか？特に新入生のみなさんは高校とは違い、「履修登録の仕方がわからない」、「先生との連絡方法は？」など戸惑いを感じることもあると思います。そんな時、まずは学生総合相談支援室へどうぞ！

学業、友人関係、日常生活のことなど困ったことやわからないことがあった時、気軽に訪ねてきてください。スタッフ一同いつでもみなさんの来室をお待ちしています。

アットホームな雰囲気がウリの総合キャリア支援室。お気軽にご利用ください！

③ 総合キャリア支援室（1号館1階）

総合キャリア支援室では、主に就職（一般企業・団体）に関する相談や、インターンシップ・資格取得の支援などを行っています。広くて明るいフロアにたくさんの参考書籍や先輩たちの就活情報、PCもあり、1年生から4年生まで誰でも自由に利用することができます。キャリアカウンセラーが常に在室し、卒業後の進路に関する相談にも乗っています。

④ 生協カフェテリア食堂「シルクロード」（1号館1階）

季節メニューや企画フェアーなど、毎月メニューが変わって飽きない食堂です。ケーキやデザートなども盛りだくさんです。

⑤ 保健相談室（1号館1階）

充実した学生生活を送るには、心身ともに健やかであることが大切です。でも時には、体調を崩したり、なんとなく元気がでない、ケガをしてしまった等、様々なハプニングがおこるかもしれません。そのような時は、ぜひ保健相談室へお越しください。状況に応じた処置やアドバイス、また、月2回程度の校医による診察で、皆さんの「こころ」と「身体」をサポートします！

⑥ 教員・保育士養成支援センター（1号館２階）

教員、保育士を目指して頑張っている皆さんの夢を叶えるお手伝いをします。小学校、幼稚園、保育所での豊富な実務経験を有する教員が在室し、教員採用試験対策や手遊び・パネルシアター等の実践的教育力を身につける講座を開講します。また、教育系ボランティアの情報提供や就職活動支援のほか、皆さんからの個別の相談に随時対応します。教員、保育士に関して、相談したいことがある方は、まずはこちらへお越しください。

学祖を訪ねて

「学祖、淑徳大学の原点を知る」

本学は2015年に創立50周年を迎える。学祖の志を受け継ぎ、それを時代の要請に応えた形で発展させていくのが私たちの務めである。本学が掲げる共生と実学の理念は、問題が山積する現代社会において、ますますその重みを増していくだろう。新たな出発にあたり、あらためて本学の原点を確認しておきたい。

1 学祖

6歳で浄土宗・得生寺の養子となり出家得度。浄土宗立芝中学校（現・芝学園）で学ぶ。大正4年（1915）宗教大学本科を卒業。恩師渡辺海旭先生の勧めもあり、東京市養育院の巣鴨分院に勤める。ここで社会事業への第一歩を踏み出すわけだが、あまりの激務のために胸部を患い、生死の間をさまよう。しかし、不屈の精神力で病魔を克服すると、大正7年（1918）には、宗教大学社会事業研究室（大学に設置されたわが国最初の社会事業教育機関）に迎えられ、同年10月、同研究室の実地調査部の名において、東京西巣鴨のスラム街、通称「二百軒長屋」に単身で移住。そこで学生と共に調査活動のかたわら年少労働者・未就学児童のための実用夜学校をはじめ、さらに一般隣人のセツルメント（学祖はこれを「隣保事業」と訳している）を行う。この事業を組織的に継続するために、翌8年1月にマハヤナ学園を創設。さらに同年には、名著『社会事業とはなんぞや』を世に問う。ときに若冠28歳であった。

二百軒長屋（大正7年）

欧米留学から帰国後の大正13年（1924）には、マハヤナ学園内に大乗女子学院（夜間）を開設。これが後に淑徳巣鴨高等学校と発展した。第二次世界大戦後の焦土の中、淑徳高等学校の板橋移転をはじめ、淑徳与野高等学校、淑徳幼稚園・小学校、淑徳短期大学とわずか数年のうちに次々と創設。昭和26年（1951）、大巌寺第六十世住職に就任すると、「大巌寺文化苑」の構想のもとに、教化活動と並んで地域社会の教育・福祉の向上発展に資すべく各種の事業を推し進めた。これが後の淑徳大学開学の礎となったわけである。

さらに63歳を超えてから、病身をおして3回にわたり単身ブラジルに渡り、移民した同胞のために開教の道を開いた。昭和40年（1965）に、国内4番目の社会福祉系単科大学として淑徳大学が設立。ここに、幼稚園から大学までの一貫教育に基づく総合学園が完成した。これを見届けるように、昭和41年（1966）8月4日遷化。76年の生涯を閉じた。

日伯寺 工事半ばの本堂外観前にて（昭和33年）と当時のパスポート

四年制淑徳大学の校舎建設着工（昭和39年頃）

「後に続く者を育てたい。
学生諸君、君らは私の同志である。」

――――学祖 長谷川 良信 先生

『社会事業とは何ぞや』（大正8年刊行）
我が国で「社会事業」を書名に使用した最初の著書

2 Not for him, but together with him

学祖の著『社会事業とはなんぞや』の中の言葉である。社会事業の理論を明確に示した同著の中で学祖は、社会的活動は「彼のため（for him）ではなく、彼と共に（with him）でなくてはならない」とする新しい社会事業の理念を表明した。

慈善活動的に"助ける、与える"のではなく、共に生きるためにはどうすればいいか。これは、大乗仏教の精神を源流とする考え方である。言い換えれば、仏教の「自利利他の精神」であり、今日の「共生」の思想といえる。この共生とは、人間と人間の共生にとどまるのではなく、人間と自然との、およそ「いのち」あるものすべてとの共生を指す。

「自利利他」とは、他者のために自分を活かすことである。学祖は、26歳で大病を患い生死の間をさまよった際、「感恩奉仕」の精神を深く自覚する。「生きていることに感謝し（感恩）、自分の与えられた命を他者にお返し（奉仕）する」。己の命を他者のために完全燃焼させる。この精神が、共生、Not for him, but together with him、そして後述する実学の理念のすべてのよりどころとなっていることをあらためて確認しておきたい。

3 実学

実学とは、一般に実用的な学問と理解されることが多いが、学祖が掲げる実学はやや意味を異にする。学祖は「実践を通して吟味体得された学問」であり、つきつめていくと「真に自己の人格に実りをもたらす学問」ととらえる。

今、大学はおしなべて「社会人基礎力」の育成に力を入れている。この社会人基礎力は、突き詰めれば社会との関係性を築く能力であり、さらに言えば社会の中で自分を活かす力である。まさにそれは、学祖の言う「実学」により習得していくものである。学祖は生涯をかけて実学を実践し、後世に伝えてきたわけで、その教育理念がいかに先見性に富んだものであったかがよくわかる。

本学が実践しているサービスラーニング、アクティラーニング、ボランティア活動等は、すべてこれまで述べてきた理念に基づくものである。講義で学んだ知識をいかに実社会で活かしていくか。こうした能力は、体験を通して汗をかき、他者と協働しながら、体に刻み込まれていく。これからも、本学が社会の中で学ぶ教育に力を注いでいくことは言うまでもない。積極的な参加を期待したい。

4 大巌寺

千葉キャンパスと一体となす大巌寺。450余年前の天文年間に創建された伝統ある浄土宗の名刹である。江戸時代には檀林と称して境内に多数の学寮を備え、数百名の学僧が全国から参集して学ぶ学問寺であった。

学祖が掲げた「大巌寺文化苑」の後構想が、社会貢献活動（社会開発）へと展開しているわけだ。

実学は、社会・地域の中で学んでこそ実りあるものとなる。学生たちにとって諸活動やボランティアは自己の人格形成の場であり、同時にその営みが社会・地域への貢献につながっていく。こうして、実学が大きく華開く。

本学での学びは、教室の中だけにとどまらない。訪れる場所、そこで会う人々、ともに過ごす時間、すべての経験に学びの機会がある。学祖、そして全国各地で活躍する諸先輩が築いてきた「共生き」の理想を、私たちは継承・発展する責任がある。

大巌寺（本堂）

淑徳大学は2015年、創立50周年を迎えます

創立50周年へ向けて、下記の事業を展開していきます。学生企画の記念行事も開催予定です。

1. **記念式典・祝賀会**
   2015年9月26日（土）
   場所：千葉キャンパス
2. **学祖50回忌法要**
   2015年9月26日（土）
   場所：大巌寺本堂
3. **記念行事**
   場所：各キャンパス
4. **50年史刊行**
5. **50年のあゆみ展**
6. **モニュメントの造立**
   千葉キャンパスには、大学歌等を刻んだ碑、他キャンパスに"together with him"を刻んだ碑を設置します。
7. **記念出版物の刊行**
8. **日本仏教社会福祉学会大会の開催**
9. **国際学術フォーラムの開催**
   ベトナムおよび東アジアの研究者をお招きします。

詳しくは、大学ホームページ内「創立50周年記念サイト」をご覧ください。
http://www.shukutoku.ac.jp/50th/　創立50周年記念サイト　検索

淑徳調査団 vol.5

今回のテーマは **大学での学び・研究** で徹底リサーチ！

新入生向け―
“研究ってどうやるの？”

先輩から1年生 へギモン解決号

「淑徳調査団」は、淑徳大学にまつわるギモンや面白そうなことを毎回メンバーがリサーチしていく企画です。

今回は、実践心理学科　大橋靖史ゼミの新4年生の私たちが、新入生の疑問にお答えします。「大学ではどんな風に学ぶの？」「研究ってどんなことをするの？」と、これから始まる大学での学びにはたくさんの疑問がありますよね。「大学での学び・研究」について、徹底リサーチ！

Data 1

Q.そもそも…研究ってどんな流れで始まるの？

1　研究テーマを見つける
――まずは、研究テーマを決めます。疑問に感じたこと・興味のあることをみつけます。

2　アプローチの視点を決める
――参考文献をもとに、どのような視点からアプローチするかを決定します。

3　調査・研究を行う
――どのような結果を得たいかによって、調査・研究方法を選びます。

4　結果をもとに考察する
――テーマに対して自分はどのように考え・捉えたのかを調査結果をもとに考察します。

Data 2

Q.先輩たちはどんな研究をしているの？

実践心理学科の「大橋ゼミ」の研究発表にお邪魔いたしました！

◎ 心理学の研究方法　マメ知識

心理学の研究方法について3年生までの授業で学んだことを活かして、そして自分の研究へとつなげていきます。研究テーマに応じて、アプローチの方法は異なります。 ① **調査法**　② **観察法**　③ **実験法**　など心理学には様々な研究方法があります。

「延命治療における三者間のやり取りと医師の役目」

小川 優子さん、園畑 夏希さん、野田 愛美さん

ドキュメンタリー番組をもとに、延命治療を望んでいない患者・患者の家族・医師の三者間の会話を分析。「告知とは何か」「医師のあるべき姿」ついて、考察をしました。

【感想】……患者の仕草や表情から、心理的な変化を分析しました。3人での共同研究のため、見る人によって解釈が異なり、意見をまとめることが大変でした。しかし、他の人の意見を聞くことで得られたこともたくさんありました。

「日米におけるホラー映画演出の比較」

三浦 茉莉奈さん、畠（もたい） 絵里さん、余語（よご） 美幸さん

文化・国民性による“目に見えない恐怖”の違いを研究テーマとし、日米のホラー映画を比較しました。双方の映画から特に気になったシーンや演出を書き出し、それぞれの特徴をまとめました。

【感想】……原作とリメイク作を比較研究の対象としたため、ストーリーではなく、表現方法など細部の違いに注目しました。アメリカは、妖精や妖怪などの民間信仰がないことや繰り返された侵略の歴史が背景にあるため、日本とは異なり、「物理的・物質的」な物事が恐怖の対象となっていることがわかりました。

「イメージ画と質問紙による他界の象徴 ―あの世とこの世の関係イメージ―」

井口 采香さん、土屋 江里香さん、佐々木 麻美さん、舩渡 みなみさん

在学生147名を対象に、調査法（質問紙法）を実施。もし死後の世界があるとしたらと仮定し、あの世にいる人とこの世の人との関係をイメージして絵を描いてもらい、分析をしました。

【感想】……イメージ画の描写の他に、「死ぬかと思った経験の有無」というオリジナルの視点を追加し、調査をしました。その経験の有無、男女の性差などにより、違いがあるのかに注目しました。この世に自分が描かれているかどうかについても、調査を加えられればよかったと思いました。

「夢の想起 ―紙と会話での想起の表現の違い―」

柿澤 祥子さん、近能 万里恵さん

被験者4人に対し、前日見た夢について1分間の会話・5分間の記述の2パターンから夢の想起をしてもらい、想起の方法の違いについて調べました。

【感想】……会話と記述では、表現方法や文字量が異なることがわかりました。記述の方が具体的で簡潔に表現されており、会話では間接詞が多く曖昧な表現が多いことがわかりました。今後は、日本人と外国人の夢の違いや宗教によって見る夢が異なるのかなど、文化の違いの観点から夢について研究したいと考えています。

新入生のみなさんへ

大学での学びは、自分で疑問を見つけることから始まります。疑問に対して、どのように掘り下げるか、それも私たち自身で考えていかなくてはなりません。1、2年生での学びは、研究のベースとなる部分の学びがほとんど。まずは基礎を作り、素敵な研究テーマをみつけてくださいね！

Thank you!!

協力：総合福祉学部　実践心理学科
「大橋ゼミ」の皆さん

淑徳調査団 募集！
reply@soc.shukutoku.ac.jp

ご応募お待ちしてます

201 OB OG Interview 淑徳人

MITA Tomomi
三田 知美さん

千葉県亀田総合病院　助産師

一人ひとりの妊婦さんの、心と身体に寄り添って

「出産というこの上ない喜びの時を、すべての母子が安全安心に迎えられる様、支えていきたい」。助産師の三田知美さんは、そんな思いを胸に経験を重ね、現在2年目を迎えました。在学中は、看護学を学んでいた三田さん。さらに専門的な道に進み、産科の現場に身を置く今なにを考えるのか、お話を伺いました。

千葉県生まれ。2011年看護学科卒業。その後、亀田医療技術専門学校助産学科に進学し、2012年より助産師として入職。現在2年目を迎える。千葉県全域から訪れる妊婦の皆さんの安全安心をモットーとした出産、そのお子さんの豊かな発育の門出を支える。

千葉県鴨川市に位置し、県外からも多くの人が足を運ぶ、亀田総合病院。三田さんが活躍する産科にも、多くの妊婦さんが訪れます。「助産師の仕事は、お産そのものに留まりません。出産前の妊婦さんに、心がまえや生活習慣のアドバイスなどを行い、出産後は赤ちゃんの状態を把握しつつ、初産のお母さんには、育児生活を具体的にイメージするアドバイスを行います。もっとも、一言に妊婦さんといっても状況や取り巻く環境は千差万別。一人ひとりとじっくり話をする必要があります。淑徳大学在学中に学んだ“together with him”という考え方が現職の手助けとなっています」

看護学部入学後、学びを進めていく中で、次第に助産師の道に興味を持つ様になりました。「在学中、助産師として活躍していた親戚に話を聞き、『こんなに幸せを人々に届けられる仕事はない！』と衝撃を受けたものです。迷いもありましたが、教育アドバイザーの岩崎紀久子先生に、『やりたいことはやった方がいい』と助言をいただき心の霧が晴れました。そうして淑徳大学を卒業した後、改めて助産師を目指す道を歩み、現在に至ります」

現場に立つ様になってから約2年。今でも仕事を終えると、ふと力んでいた自分に気づき、ヘトヘトになってしまうそうです。「まもなく新人さんを指導する立場になるのですが、まだまだ自分が不確かなことが多いので正直緊張しています。しかし教える側に立つことで、自分が捉えられているもの、漠然としか捉えていないものが見えてくると思います。新人さんと共に自分もさらに成長できたらと思っています」

先輩たちに仕事を教えてもらう中で、自身の新たな取り組みとして、救急医療についての学びを深めていきたいと考えている三田さん。正常分娩のみ対応できる助産師が、いざという時に適切な対応をとるために必要な要素が詰まっていると考えているそうです。「分娩室では、命に関わる決断が迫られることも少なくありません。医師と協働しながら看護の専門性を発揮することが、母子の安全に大きく関わるんです」

「この上ない幸せを届ける仕事」だからこそ伴う、終わりのない学びと張り詰めた時間。そこには、単にやり甲斐などという言葉では集約できない、人を支える想いがありました。

photo

患者さんから頂いたお手紙
今私が大切にしているものです。
助産師としての初心を忘れないように…という思いで持ち歩いています。

photo

大学時代のサークル合宿写真です。現在も同じ仲間たちとスノーボードを楽しんでいます。（一番左が三田さん）

NEWS CLIP

2014.1-2014.3

ポーツ・文化等奨励賞の優秀奨励賞（2名）及び女子卓球部の全日本大学総合卓球選手権大会団体の部で優勝回数が10回となる偉業を達成したことによる特別賞の表彰がありました。

その後、場所を食堂に移し教員を交えて祝賀会を開催し、団体を超えて学生同士が交流し、来年度の活躍を誓い合っていました。

短期海外研修

春休み期間中に国際コミュニケーション学部・経営学部の2年生を対象とした短期海外研修が実施され、全6コース、163人が参加しました。

研修先は、国際コミュニケーション学部は台湾、バリ、オーストラリア、イギリス、ドイツ、経営学部はシンガポールです。経営学部は今回初めての実施でしたが、選択科目にもかかわらず2年生の半数が参加しました。学生たちは、各国でのレクチャーや異文化を体験し、大きな刺激を受けてきました。

平成26年度新入生向けスプリングセミナー開催

3月8日に、新入生対象のスプリングセミナーが開催され、経営学部・教育学部合わせて約240人が参加しました。当日は、英語習熟度試験や新聞学習へのアドバイスが実施され、大学における学習の準備が進められました。また、現1年生がリーダーズキャンプの経験を生かして、参加者同士の交流を深めるゲーム等を指導し、一緒に楽しみました。なお、同日には保護者説明会も開催され、本学の教育方針や教育課程、学習指導体制等についてご説明しました。

SAITAMA Campus

新しい自分を発見！　リーダーズキャンプ

キャンパスというコミュニティーの中で、サークル・クラブやゼミの運営、また学内行事やボランティア活動などを主体的に実施できる学生を育てる企画です。その目標は、「学生が『刺激』を受けて今とは違う自分を見つけること」と「学内行事の企画と実施ができること」です。1月4日から国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、1泊2日の合宿形式で実施しました。参加した学生は新学部の教育学部1年生7名を含む69名、講師の応対や体を動かすワークショップ形式など研修内容には高い満足度でした。初めは、知らない学生とのコミュニケーションやキャンプの内容に不安を抱く学生もいるようでした。しかし、ラーニングパートナーやグループで協力しなければ達成できない課題と講師の適切な指導により、積極的に、かつ楽しんで参加できました。

清水正道先生最終講義、長い間ありがとうございました！

1月20日、「環境コミュニケーション論」の講義に履修学生の他多くの“聴講生”が、清水先生の最終講義を惜しんで集まりました。昨今話題となっている環境/CSR（企業の社会的責任）コミュニケーションというホットな内容をPowerPoint を活用されながらスムーズに分かりやすく解説していただきました。経済社会の転換点である今日、情報収集と発信・伝達力への重要性を訴えて締めくくられました。

課外活動結果報告会および祝賀会

1月21日、学内教室にて学生団体の強化クラブ3団体・認定11団体・準認定11団体・その他1団体が、「今年度の課外活動結果報告と来年度に向けての抱負」を学長に向けて報告しました。また、学長より大乗淑徳学園のス

看護師・保健師国家試験奏功会が開催

看護師・保健師国家試験奏功会が2月6日に開催されました。奏功会では、鈴木学部長から試験に向けての心構えや激励の言葉が贈られ、また下級生が作成した下級生や教職員からの応援ビデオレターが流されました。さらに、卒業生からも心強い言葉をいただくことができ、受験に対する不安な気持ちが和らぐ温かい奏功会となりました。

国際小児がんデーの集いでボランティア

稲毛の三陽メディアフラワーミュージアムで、国際小児がんデーの集いが開催されました。これは、世界共通のイベントで、2月15日にメッセージカードを付けた赤い風船を空に飛ばす催しです。日本では今年初めて開催され、総合福祉学部から12名、看護栄養学部から6名のボランティアが参加しました。前日からの大雪の影響が心配されましたが、開始時には時折晴れ間も見られ、学生は1,000個の赤い風船にヘリウムを入れたり、会場の除雪をしたりと活躍していました。

仁戸名特別支援学校への訪問

2月21日、国家試験が終了した看護学科4年生6名が、仁戸名特別支援学校を訪問しました。例年、秋に支援学校の高等部の生徒さんが看護栄養学部を訪問しているのですが、今年は感冒が流行り実施できなかった為、本学の学生が支援学校に行くことになりました。支援学校では、中等部の生徒さん1名、高等部の生徒さん7名の計8名が出迎えてくれました。手遊びの「おでこさんまいて」や、「ウンパッパ」に合わせた車いすダンス、そしてロンドン橋落ちたをして楽しく交流することが出来ました。

上映後は映画監督らを招いてトークイベントも催しました。入場料及び当日の募金で集まった全額を「いわての学びの希望基金」岩手県の被災遺児・孤児のための教育基金に寄付しました。

児童書の新刊案内

子どもたちを絵本の世界へ誘うワークショップの活動報告が、このたび『絵本でつくるワークショップ：体感しよう絵本の世界』と題して、槇英子、仲本美央、瀧直也、松山恵美子先生らにより1冊の本として3月14日付発行になりました。地域・企業・大学間で本学の学生たちがどのようなワークショップの手法で取り組んできたか記された良書です。図書館に蔵書があります。是非お読みください。（萌文書林：定価2,000円）

CHIBA2nd Campus

栄養学科２年生　千葉県衛生研究所見学

1月10日、栄養学科2年生61名が食品衛生学授業の一環として、千葉県衛生研究所を見学しました。本研究所は感染症の検査や調査研究、食品や医薬品、飲料水等の検査等を業務とする研究機関です。見学では、研究所の目的や業務内容の説明と所内の案内をしていただき、食品中の放射性物質を測定する大掛かりな装置や、アレルギー物質や遺伝子組み換え食品を検知する実験機器等を見せていただきました。研究所では、食品衛生学実験等の講義で体験した方法も多く使われていることを知り、栄養学科の学生にとって大変有意義なものでした。

千葉東病院の待合室に冬のデコレーション

看護学科1・2年生の学生ボランティアが、千葉東病院の待合室ガラス壁に手作りのデコレーションを施しました。患者さんからは、「待合室が明るくなった」ととても評判でした。今後もこの活動は続けられ、季節ごとに模様替えして快適な病院作りのお手伝いをしていきます。

長が講演、第2部では熊谷俊人千葉市長と、本学の理事長、および、山下興一郎准教授が、防災や高齢社会における市民の絆について鼎談されました。約140名が熱心に聴き入る貴重な機会でした。

車椅子バスケットボール大会熱戦

3月1～2日、第3回長谷川良信記念・千葉市長杯争奪車椅子バスケットボール全国選抜大会が行われました。千葉市を拠点にする千葉ホークスのほか、宮城、東京、埼玉から計4チームが参加し熱戦の結果、宮城MAXが優勝を飾りました。来年は会場を本学から千葉市の施設ポートアリーナに移し8チームが参加予定です。本学で始まった車イスバスケット大会は千葉市が障がい者スポーツに力を注ぎ、さらに2020年東京パラリンピックでのキャンプ誘致にも期待が注がれています。

リーダーズキャンプと学生団体リーダーたちの活躍

3月3日～4日、千葉市美浜区のヴェルシオーネ若潮にて、リーダーズキャンプが行われました。各学生団体の代表者等総勢47名が集まり、大学教職員の指導の下、1泊2日のプログラムに取り組みました。

導入研修のアイスブレイクでは、様々なレクリエーションを通して、お互いに楽しくコミュニケーションをとる雰囲気が作れました。

また、「大学を元気にするために」というテーマで、グループに分かれてプレゼンテーションを行いました。工夫を凝らした内容で、「淑徳大学を活気ある大学にしたい！」という皆の想いが伝わってきました。

3.11メモリアルフィルム上映会

東日本大震災から3年となる3月11日、千葉市生涯学習センターでコミュニティ政策学部1年生の学生たちが岩手の被災地が舞台の映画3・11メモリアルフィルム「ひとつ」上映会を企画開催。

CHIBA Campus

スリランカ訪日視察団来学

1月16日、スリランカより総務大臣、仏教宗教省大臣などが来学されました。スリランカでは仏教・僧侶が福祉を実践しており、仏教僧を対象としたソーシャルワーク教育の養成機関「Social Work Education for Buddhist Monks」（SWEBM）の開学に向けての視察です。

本学は創立者が「宗教」「社会福祉」「教育」の三位一体を建学の精神に掲げて福祉教育を永年展開しています。このたびの訪日視察団を理事長や学長、学部長らが出迎え、仏教福祉学の授業科目などについて説明しました。茶道部の学生たちはお点前を披露して国際交流を深めました。大巌寺や特別養護老人ホーム淑徳恭生苑も視察されました。

コミュニティ政策学部実践科目3・4年合同発表会

1月24日、コミュニティ政策学部教育の中核となる実践科目（「ケーススタディ」、「ワークショップ」）の合同報告会を開催。クラスごとに年間のサービスラーニングの内容と学びを発表しました。地域防犯、マーケティング、子育て支援、グルメラン、多世代交流、被災地見学など多様なサービスラーニングへの意欲的な取り組みからクラス・学年を超えて相互に刺激を与え合いました。

千葉コミュニティカレッジ特別セミナー開催

2月12日、千葉市生涯学習センターにおいて、千葉コミュニティカレッジ特別セミナーを開催しました。第1部は「生きること、死ぬこと～高齢社会と大震災～」と題して、長谷川匡俊理事

SHUKUTOKU Together 201
The Shukutoku University Newsletter
発行日：平成26年4月1日　編集：大学広報編集委員会　発行：大学事務局　制作協力：株式会社図書出版

淑徳大学 東京キャンパス開設記念コンサート

指揮者：井上道義氏

演奏：新日本フィルハーモニー交響楽団

9月9日（火） 19：00 開演
東京芸術劇場コンサートホール（池袋）

出演
指揮　井上道義　　ピアノ　近藤嘉宏
演奏　新日本フィルハーモニー交響楽団（管弦楽）

曲目
ベートーヴェン　ピアノソナタ　第14番　作品27-2「月光」より　第一楽章
ベートーヴェン　交響曲　第4番　変ロ長調　作品60
ワーグナー　楽劇「ワルキューレ」より　ワルキューレの騎行　他

■主催　夕刊フジ　■後援　産経新聞／モーストリー・クラシック　■特別協賛　淑徳大学
詳細は、5月下旬に本学ホームページで公開します。「ニュース＆トピックス」をご覧ください。

201 今号の Cover Person

市川 茉梨奈 さん
人文学部　表現学科 1年

表現学科1期生として入学しました。この学科を選んだのは、子どもの頃から周りのみんなが喜ぶ顔を見るのが好きで、自分の表現でたくさんの人を笑顔にしたいと思ったから。人の心を動かす表現者になることが目標です。授業や多くの人たちと関わることで、潜在能力が引き出され、新しい自分が発見できるのではないかと期待しています。

栄養学科の
知識モリモリ×栄養モリモリ vol.5

今回は角野 猛先生に伺いました。

食品添加物の一日摂取許容量について

私たちが日常摂取している食品のほとんどに保存料、着色料、調味料等、様々な食品添加物がそれぞれの用途に応じて添加されています。食品添加物の安全性を考え、FAO/WHOの食品添加物専門家委員会は一日の摂取許容量（ADI）を設定しています。ADIの算出は実験動物などに対して様々な毒性試験等を行い、動物に何ら影響を与えない量、すなわち最大無毒性量を決定し、この最大無毒性量の1/100とされています。この値は、人が一生涯にわたって毎日摂取しても全く影響がない量であり、絶対安全量です。例えば、保存料として指定され、練り製品等に使用が認められているソルビン酸のADIは体重1kg当たり、12.5mg～25mgです。従って、体重50kgの人は625mg～1250mgがADIとなります。

食品添加物の摂取量は、該当食品の添加量から計算できます。最近の調査によりますと、食品からのソルビン酸の1日摂取量（体重50kg）は13.56mgであり、これはADIの約1%です。いずれにしろ、私たちは各食品添加物のADI以下の量の摂取を心がける必要があります。そのためにも、食生活において多種類の食品の摂取が望ましいと思います。

■ 編集後記

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在学生の皆さん、ご進級おめでとうございます。春爛漫の時節、知る人ぞ知る本学に複数点在している常緑の大木タブノキに控えめな黄緑色の花が咲く頃となりました。本紙制作のための撮影日は未だ寒く、記録的な降雪を伝える報道がされていた白銀のキャンパスでしたが、掲載にご協力の方々ありがとうございました。フレッシュマンを迎えたキャンパスで毎年お決まり事のように繰返し質問がとびかう「○はどこですか?」に対応するためのキャンパス地図、施設紹介者写真付きマップは如何でしょうか。さて、次号を考えれば夏の猛暑が心配されて寒暖の差が激しい年ですが、より良いTogether情報を目指します所存にて宜しくお願い申し上げます。（今野）

「淑徳大学広報」に関するご意見、ご感想などのメールをお待ちしております！　reply@soc.shukutoku.ac.jp

■ 千葉キャンパス
総合福祉学部／コミュニティ政策学部
大学院総合福祉研究科
千葉県千葉市中央区大巌寺町200　TEL.043-265-7331

■ 千葉第2キャンパス
看護栄養学部
千葉県千葉市中央区仁戸名町673　TEL.043-305-1881

■ 池袋サテライト・キャンパス
東京都豊島区南池袋1-26-9 MYT第2ビル7F　TEL.03-5979-7061

■ 埼玉キャンパス
国際コミュニケーション学部／経営学部／教育学部
埼玉県入間郡三芳町藤久保1150-1　TEL.049-274-1511

■ 東京キャンパス New!!
人文学部
淑徳大学短期大学部
通信教育部
東京都板橋区前野町2-29-3　TEL.03-3966-7631